

# 第2回 ～ゼロカーボン 通信～ 「二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して！」

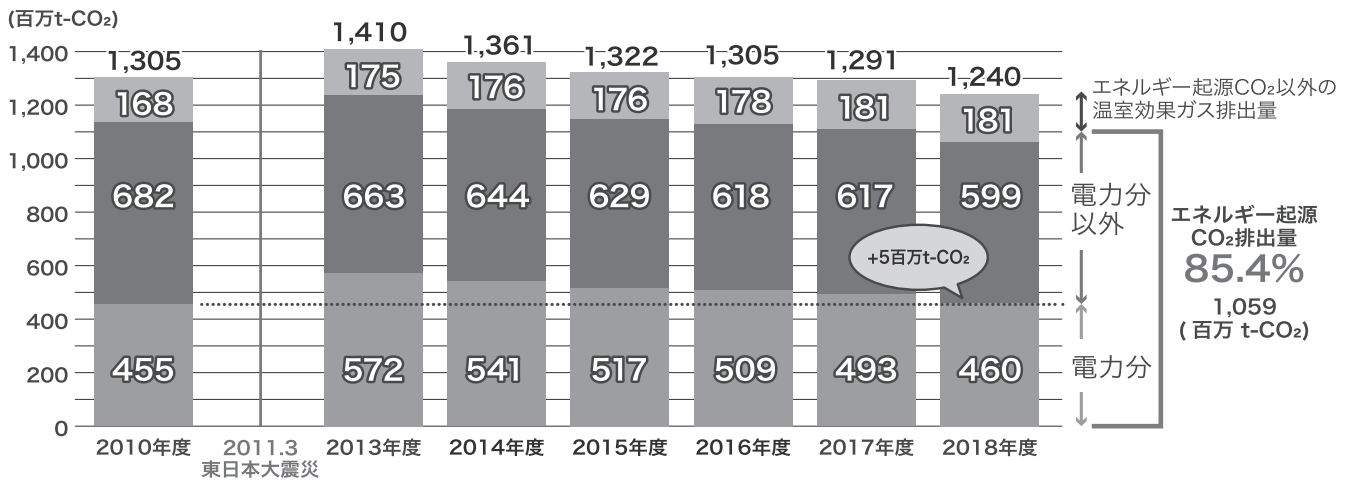
第2回目は、温室効果ガス排出量についてお伝えします。下図のとおり、日本では近年、温室効果ガスの排出量は減少していますが、世界に目を向けると新興国等からの排出量が増加しているため、世界全体では増加傾向にある状況です。なお、日本は世界で10番目に人口の多い国ですが、二酸化炭素の排出量は5番目に多い国となっています。（先進国の中ではアメリカに次いで2番目に多くなっています）

## 温室効果ガス排出量

**Q** 日本は温室効果ガスをどれくらい排出していますか？

**A** 東日本大震災以降、温室効果ガス排出量は増加しましたが、2018年度は12.4億トンまで減少しました。今後も、削減に向けた努力を続ける必要があります。

### 日本の温室効果ガス排出量の推移

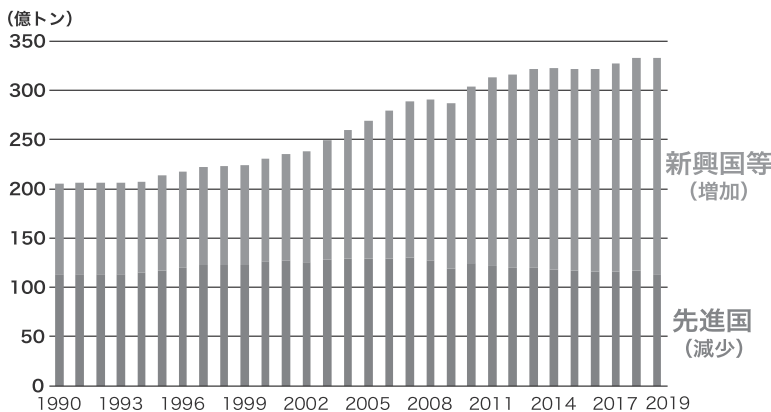


出典：総合エネルギー統計、日本の温室効果ガス排出量の算定結果（環境省）を基に作成  
温室効果ガス：CO<sub>2</sub>、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六フッ化硫黄の6種類。

### コラム - 世界のCO<sub>2</sub>排出量

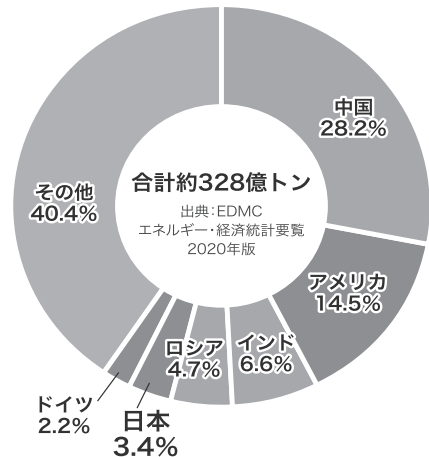
日本のCO<sub>2</sub>排出量は、世界で5番目。CO<sub>2</sub>排出の内訳の大宗はエネルギー起源が占めます。世界のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は、先進国では削減が進みますが、世界全体では減っていません。エネルギー起源CO<sub>2</sub>は化石燃料の使用によることから、日本は、高効率・低炭素技術やカーボンリサイクル等のイノベーションを展開し、世界の排出削減に貢献するよう取り組んでいます。

#### 世界のCO<sub>2</sub>排出量推移



出典：IEA「Energy related CO<sub>2</sub> emissions 1990-2019」より作成  
(備考)「先進国」は、オーストラリア・カナダ・チリ・EU・アイスランド・イスラエル・日本・韓国・メキシコ・ノルウェー・ニュージーランド・スイス・トルコ・米国を指す

#### 世界のCO<sub>2</sub>排出量(2017年)



出典：資源エネルギー庁「日本のエネルギー 2020」

■問合せ 環境課環境保全係 ☎72-6916